

令和6年度「市小・中連携推進委員会」研究のまとめ

西紫原中ブロック(西紫原中学校・西紫原小学校・向陽小学校)

1 令和6年度 市教委「小中連携研修会」グループ校別研究主題

自他の良さや可能性を認め合い、児童生徒一人一人が大切にされる小中連携の在り方
～ 小中連携を通じた不登校対策について～

2 小中連携研修会の実際(実施日のみ確認済み)

(1)小中連携研修会

- ① 日時 令和7年5月19日(月) 13:45～16:40 (昨年度時間)
- ② 場所 西紫原中学校 (各所定の場所)
- ③ 日程 (R6年度の内容と時程)

時 間	主 な 内 容	会 場
13:25～13:55(20)	受 付	体育館
13:55～14:40(45)	自由参観 ※人数制限はなし	各教室
14:55～15:55(60)	学習指導分科会 「一人一人が分かったできたを実感できる授業」	体育館
	生徒指導分科会 「よい行いを認め広げる生徒指導」	第1理科室
	特別支援分科会 「一人一人の特性にあった支援の在り方」	第2理科室
	(各校 管理職1名, 各分科会2名ずつ出席予定)	
16:10～16:35(25)	分科会報告並びに閉会行事	体育館

3 R7年度の研修日程・内容等の検討

(1)日程

期 日	内 容	会 場	備 考
4月18日(金)	市小・中連携研修会推進委員会	西紫原中学校	確認済み
5月19日(月)	市小・中連携研修会	西紫原中学校	確認済み
8月22日(金)	市小・中連携研修会情報交換会	西紫原中学校	予定
2月20日(金)	市小・中連携研修会推進委員会	西紫原中学校	予定

※今後の担当校 R6年度西紫原中 → R7年度西紫原小 → R8年度向陽小

(2)推進委員会意見交換

- ・ 小中連携での共通実践として必ず取り組めるもの、学習指導であればどの教科でも取り組めるものを共通実践事項としてあげられるとよい。
例：テスト期間に合わせたノーメディアデーを設定する。
無言清掃に6年生は挑戦してみる。
チャイム前着席と黙想への取り組み。
学習中の姿勢や机上及び机の横の物の置き方に関する約束事。
このような取り組みを通して9年間の学業・生徒指導を含めた学校生活の安定を図る。
- ・ 情報機器とのかかわり方などに関する約束事のラインを設け、足並みをそろえて指導

していくことも可能ではないか。

- ・ 不登校への対応として学校生活を魅力あるものにするためにも、授業改革は必要だと感じる。
- ・ 地域の方からは、「不登校児童・生徒への対応はどうなっているのか」という指摘がある。さらに、その児童・生徒に対してどのようにして学習の保証を図っているのかという指摘もある。
- ・ 小中での共通実践の取組みとして、学習や生徒指導に関する小中で共通実践できることをあげていく中で、不登校の児童・生徒への遠隔授業の対応なども含まれていけばそれも共通実践できることのひとつとなる。学校生活の様々な約束事や取組みの中に不登校に対応する内容も含まれてくるのではないか。
- ・ テーマに沿って取り組む内容が「具体的であること」「中学校の課題に即していること」「アンケート結果に即していること」がテーマや取り組む内容を考える際の指針となるのではないか。

(2)令和7年度研修テーマ案(推進委員会での意見交換をもとにした仮テーマ)

児童・生徒が安心して学校生活を送るための小・中が連携した共通実践の在り方
～一人一人が大切にされる学習指導・生徒指導・特別支援教育を通して～